

地域チャレンジ！公募提案型協働事業が決定しました

図 協働推進室 ☎32-2032

市では、市民活動団体や事業者などが主体となって、地域が抱えるさまざまな課題の解決を行う「公募提案型協働事業」を実施しています。

今年度も公開プレゼンテーションの結果、5団体の事業を採択しました。

山城の祭典

団体名 美作の中世山城連絡協議会

内容 地域の文化財である山城についての研究報告会やシンポジウムを開催する。また、山城に伝わる舞踊や特産品などを紹介して、山城に対する認知度を高める
(11月30日(土)開催)

第1回津山ショウガまつり

団体名 津山東高等学校

内容 津山ショウガを使った料理レシピや地場産農作物を使った料理などを紹介することで、地場産農産物の消費拡大に結びつける。また、学生と市民が触れ合うことで、郷土への愛着を深める
(10月27日(日)開催)

美作の国つやま検定で地域おこしプロジェクト

団体名 津山商業高等学校 商業クラブ

内容 美作国建国1300年記念事業として「美作の国つやま検定」を実施する。美作地方に伝わる天神人形を通して郷土の風習や文化を見つめ直し、地域おこしにつなげる
(美作の国つやま検定 平成26年2月11日(祝)開催)

不登校の子どもと大人への個別支援

団体名 特定非営利活動法人オレンジハート

内容 不登校に悩む子どもとその保護者への個別支援を行い、不登校の解消や心のケアを行う。また、不登校に対する社会的な理解を広げる講座など、啓発活動を行う
(不登校講座第1回 8月31日(土)開催)

じば子のおうちプロジェクト

団体名 城東まちづくり協議会

内容 城東地区の高齢者(じいちゃん・ばあちゃん)と子どもたちが、日常的にふれあうことができる場を提供し、地域に新たな活力を呼び起こすとともに、安全・安心のまちづくりにつなげる



じば子のおうちプロジェクト・いのこ

追納できます 国民年金保険料

図津山年金事務所(田町) ☎31-2363、保険年金課(市役所1階7番窓口) ☎32-2072

国民年金は保険料の免除や納付猶予を受けると、将来、受け取る年金額(老齢基礎年金)が全額納付した時に比べて少なくなります。

国民年金の保険料は、免除や猶予を受けながら10年以内であれば、後から納付することができます。(追納)ができます。



※追納は、津山年金事務所または保険年金課、各支所市民生活課にお申し込みください

平成25年度に追納する場合の保険料月額

年度	全額免除	半額免除	1/4免除	3/4免除
平成15年度	14,860円	7,430円	—	—
平成16年度	14,640円	7,320円	—	—
平成17年度	14,690円	7,350円	—	—
平成18年度	14,750円	7,370円	3,680円	11,050円
平成19年度	14,780円	7,390円	3,690円	11,080円
平成20年度	14,890円	7,440円	3,720円	11,170円
平成21年度	14,970円	7,480円	3,740円	11,220円
平成22年度	15,240円	7,620円	3,800円	11,420円
平成23年度	15,020円	7,510円	3,750円	11,260円
平成24年度	14,980円	7,490円	3,740円	11,230円

※平成22年度以前の保険料には経過期間に応じた加算額が上乗せされています(網掛け部分)



子育ての不安や大変さに共感し応援
参加者からは、昨年からの、第2子以降で生後4カ月までの乳児のいる家庭を訪問していることが紹介されました。子育てを経験した隊員が、母親と同じ目線で話すことで、子育ての不安や大変さに共感し合え、信頼感も生まれていることが説明されました。特に、子育てについて話し合える人が身近に少ない市外からの転入家庭から、訪問を大変喜ばれ、やりがいを感じていると話しました。
市長は、乳児家庭への訪問率が、24年度末で99%にまで達し

子どもや親が交流できる場が大切
参加者からは、津山すこやか・こどもセンターに開設されている親子ひろば「すくすく」のような、親子で一緒に遊べ、親同士が子育てについて語り合える機会が身近で増えれば、母親の負担が少なくなるとの意見が出されました。
市は、今年度から始まった「はっぴー子育て教室」、育児相談や児童館・子育て支援センターの取り組み、社会福祉協議会が行っている「すくすく久米」「すくすく勝北」などについて紹介しました。
市長は、これまで以上に多くの人が参加でき、親子で楽しい時間を過ごすとともに、親同士の交流を深められる場としていきたいと話しました。

子育ての不安や大変さに共感し応援

市が行っている「こんには赤ちゃん訪問」で活動している「赤ちゃん子育て応援隊」の6人が、市長と意見交換を行いました。

第7回

とき 7月3日(水)
テーマ 乳児家庭を訪問し子育てを応援

参加者
河内 愛子さん(志戸部)
尾島 玲子さん(加茂町)
榎本 康江さん(南方中)
森里 佳子さん(中北上)
池内 俊子さん(国分寺)
太田 広子さん(林田)

◆乳児家庭への市の訪問事業

市では、子育て支援と赤ちゃんの健全な成長を応援するために、生後4カ月までの乳児がいる家庭を訪問しています。訪問には、保健師と助産師による「新生児訪問」、愛育委員による「おめでとう訪問」、保育士・幼稚園教諭・看護師などの資格を持つ人による「こんには赤ちゃん訪問」があります。

たことは、関係者の尽力によるもので、今後とも、気持ちに寄り添った訪問をお願いしたいと感謝の意を表しました。

図 秘書広報室 ☎32-2029

市民と市長のふれあいトークを開催しました

依頼会員に聞いてみました

入会のきっかけは何ですか？

- 育児中に、歯医者に行きたくて、子どもの預かりをお願いした
- 友だち同士で助け合おうと、両方会員として入会した

サポートを受けた感想は？

- 津山に引っ越して来て、知り合いがいなかったのが、本当に助かりました
- 周りに先輩のママがいなかったので、提供会員の姿や助言が参考になります

提供会員に聞いてみました

入会のきっかけは何ですか？

- 退職したので、何か社会貢献がしたいと考えて
- 知り合いから「一緒にサポートしよう」と誘われて

活動してみて感想は？

- 時間を有意義に使えるし、子どもが懐いてくれるので、かわいらしくて嬉しい
- 「ありがとう！」「助かります」の言葉が元気の源。もっとサポートしてあげたいという意欲が湧いてきます

津山ファミリー・サポート・センターでは、子育ての援助をしてほしい人(依頼会員)と、援助をしたい人(提供会員)をつなぐ子育て支援を行っています。提供会員は、放課後や急な用事などで子どもの面倒が見られない時に、依頼会員の子どもを預かります。現在、依頼会員・提供会員を募集しています。詳しくは、お問い合わせください。

津山ファミリー・サポート・センター 会員募集中

図 津山ファミリー・サポート・センター(アルネ・津山5階 男女共同参画センター「さん・さん」内) ☎31-8753

